

“おけこん/USB”  
取扱説明書

～通信カラオケ各種対応リモコンアダプタ～



# おけこん / USB

～各社の通信カラオケ装置に PC から

曲番号などを送信するアダプタ～

## 1 製品概略

本製品はノート PC 等に接続し、各社の通信カラオケ装置に曲番号等を送信するためのアダプタです。曲番号のデータベースと連携させれば、カラオケの曲入力作業が非常に簡単かつ迅速に行なえるようになります。

このアダプタで対応している通信カラオケは、国内メーカーの大多数の機種となります。次ページの表に、その一覧を示します。なお、表に記載の機種であっても、一部は動作試験を未実施のものも含まれていますので、その場合の動作は保証しません。動作試験の記録は MAKERLOG.txt ファイルをご覧ください。情報も募集しております (…)

## 2 免責・注意事項

本ドキュメント記載のデータ等を使用した結果、いかなる不利益が発生しても当方はその責を負いません。ご使用者各自の責任において利用してください。また、通信カラオケ会社や店舗に、本製品の使用に伴う問い合わせを行なうことも禁止します。

『おけこん』対応システム一覧

略号	システム名称	備考
B	東映 BeMAX'S	
D	DAM	DAM G128, CyberDAM 含む
G	GIGA MYSTAGE	
J	JOYSOUND	
H	HyperJOY	JOYSOUND 互換でも使用可
K	B-kara	
N	NET7000	
P	セガカラ	別称: Prologue21
S	Syncom / 孫悟空	同一システム
U	U-kara	U-kara2 以降とは非互換
X	X2000	
A	ALISA III	曲番号 → 'SET'or'OPT#(1~4)'
L	ALISA III	メーカー → 曲番号 → 'SET'
Z	ALISA III	'OPT#(1~4)' → 曲番号 → 'SET'
C	Σシステム	
I	カラオケの鉄人	
M	Mac21	独自本タイプのみ対応
T	TOEI system	

## 3 使用準備

### 3.1 使用上の注意

本製品は小さな部品を採用し、精密に作られています。通常の使用には問題ない程度の強度は確保されていますが、ひねりや曲げなどの無理な力を加えないように注意してください。

また、基板下部はスポンジにより簡易的に絶縁・保護されていますが、強く押さえ付けると内部の金属部分が飛び出る恐れがあります。その状態で金属机の上などで使用しますと内部回路がショートする恐れがありますので、十分に気をつけてください。同様に、剥き出しの金属部分もショートさせないように気をつけてください。最悪の場合、USB ポートを過電流が流れ、パソコン内部の保護ヒューズが破損する恐れがあります。

### 3.2 接続

パソコンの USB ポートに直結、あるいはハブや延長ケーブルを介して接続します。製品のタイプによっては直結は出来ず、ケーブル接続のみの対応となります。

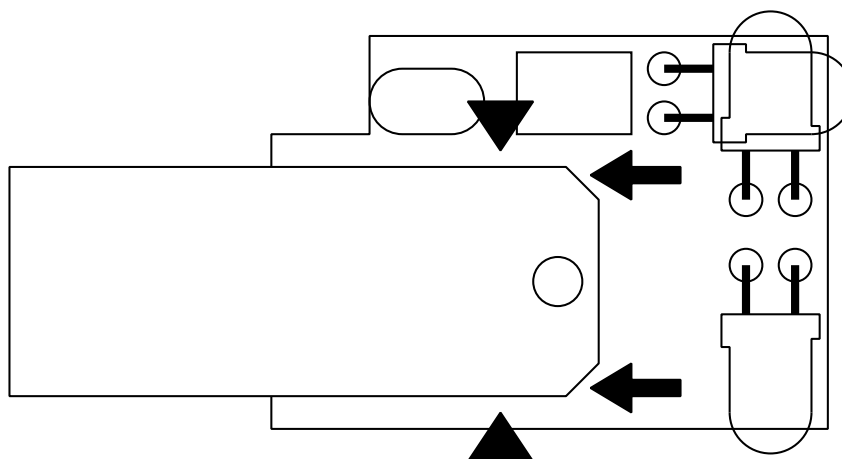
USB ポートに直結する場合、USB ポート周囲のコネクタや突起部と干渉する場合があります。その事態を回避するため、本製品はコネクタの向き別に 2 種類用意してあります。購入に先立ち、USB ポート周囲の状況を確認しておいてください。

ただし、少々細かい作業が必要となりますが、コネクタの向きは変更が可能です。次節を参考に作業を行なってください。作業に不安な方は、送料を負担して頂ければ当方で変換作業を行なうことも可能です。まずは末尾連絡先までご一報ください。

### 3.3 コネクタの反転

不幸にしてコネクタの反転が必要になった場合、コネクタを分解しての作業が必要になります。細かい作業になりますので、コネクタ以外の部品を痛めないよう、十分に気をつけてください。

まず、下図 ← 印の箇所を鋭利な器具でつついて上下 2 箇所の ▼▲ 印のツメを浮かせ、コネクタの金属部分を上下に分割するような形で上に外すか、左にスライドさせて引き抜いてください (どちらになるかは、コネクタの向きにより異なります)。基板にネジ止めしてある側と、上から被さっている側の 2 つの金属部分と、白いコネクタ部分に分割されます。



続いて、基板にネジ止めされている側を取り外し、代わりに上に被さっていた側の金属部品を基板にネジ止めします。そして、線を切らないように白いコネクタ部分を反転させ、最後に上から (あるいは左からスライドさせて) 上側の金属部品をはめ込み、元通りにコネクタを組み立てます。

### 3.4 LED の向きの変更

本製品は、赤外線を発する LED の向きを、90 度単位で 3 方向に変更することが可能です。LED はソケットに実装されていますので、半田付け等は不要です。ただし、使用しているソケットは頻繁な抜き差しを想定したものではありませんので、抜き差しを行ないすぎると接触不良を起こす可能性があります。むやみに抜き差ししないようにしてください。ただし、保証はしませんが、抜き差し 100 回程度であれば接触には問題ないようです。

なお、LED を抜く場合には、LED の足を変形させないように、可能であればピンセット等で LED の 2 本の足を両方いっぺんに挟み込んで抜き取ってください。また、差し込める方向は、前節の図にある通り、3 種類だけです。無理に他の方向に向けないでください。

## 4 使用方法

### 4.1 Windows 版

実行ファイルは `rcctl\windows\` 内の `rcctl.exe` となります。コマンドライン版と GUI 版で共用の実行ファイルです。引数を何も与えずに `rcctl.exe` を実行すると、GUI 版が立ち上がります。引数を指定するとコマンドライン版として処理を開始しますが、与えた引数がエラーだった場合には GUI 版が起動します。

コマンドラインで与える引数の仕様は、`rcctl.txt` ファイルを参照してください。一部古い記述 (RS-232C 版) が残っていますので、ご注意ください。

GUI 画面は、左上から右方向へ、システム選択・メーカー指定・曲番号のボックスがありますので、適宜選択するか入力します。右上の「SEND」ボタンを押すと、実際に送信が行なわれます。エラーメッセージ等は下半分のログ行に表示されます。その下の行に「KeyUP」「Clear」等と並んでいるボタンは、純正のリモコンにある通りの単発の機能キーです。システムによっては機能しないボタンもあります。

メーカー指定のボックスは、統合システムでのメーカー指定番号を入力します。指定できない場合にはグレー表示となります。番号とメーカーの対応は店舗毎に異なりますので、詳細は店舗のリモコンで確認してから利用してください。

なお、ログ行で「`rcctl X 12345`」等と表示されているものが、コマンドラインから指定する場合のコマンドと等価となります。

### 4.2 FreeBSD 版

コマンドライン版のみです。コマンドラインで与える引数の仕様は Windows 版と同様、`rcctl.txt` ファイルを参照してください。

ソース配布となりますので、各自の環境でコンパイルして実行してください。USB のサポートの関係上、4.0-RELEASE 以降の環境が必要です。ソースファイル等は `rcctl/FreeBSD/` にあります。



## 5 後記

初代『おけこん』の発表は 1997 年夏 (コミケット 52 で予約受付、翌 9 月に発送) でしたので、既に 5 年以上が経過してしまいました。当時はノート PC にも RS-232C コネクタがあるものが一般的で、初代機も RS-232C 接続を採用していました。ただしその後、時代は徐々に USB へと移行して行き、現在ではオプション無しで RS-232C コネクタの利用できる PC のほうが少数派となっ てしまい、初代『おけこん』がだんだん使いづらくなってきていました。

そんな中、USB 対応という声は 3 年くらい前から上がっていましたが、部品の入手が困難であること等から製作は構想段階で一進一退を繰り返し、なかなか完成の目処が経ちませんでした。ずっと期待して下さった方々には済みませんでした。ようやく 2002 年の冬に世に出すことができました。今後も改良を続けて参りますのでよろしくお願ひします。

なお、本製品は即売会での頒布が中心ですが、通信販売も行っていますので、奥付の連絡先までお問い合わせ下さい。なお、在庫が無い場合は部品調達から始めますので、最高で 2 か月程度かかります。あらかじめ御了承ください。

その他、初期不良や故障などのお問い合わせ、感想や要望などなどありましたら、奥付の連絡先まで御一報ください。



## 奥付

### 『おけこん / USB (“OKCUS”)』取扱説明書

発行 : W341 連合

初版 : 2002 年 12 月 30 日

連絡先 : 〒 242-0007 神奈川県大和市中心林間 6-2-24  
パラゾドゥカーレ 102 加藤 俊彦

E-Mail : [tosy@wig.nu](mailto:tosy@wig.nu)

URL : <http://www.wig.nu/w341/>

2002.12.30  
W341 連合